

〔槐記〕享保十二年五月十八日、午半參上、○中 御菓子青ッ、黄赤白、青磁ノウ。ス。キ。鉢。メ。テ。米。琉。璃。砂糖入木地

〔槐記續編〕享保十九年十月四日、右京大夫へ御成、拙○中 鉢引シメツ、鹽ヤ、板ノ蓋ニ、青竹ノ

〔男重寶記〕四料理に用る諸道具字盡

〔萬寶全書〕八高麗燒物之類

金海○中 どんぶり鉢内に金の字有、或はなきも有、

〔寛天見聞記〕蕎麥屋の皿もりも井となり○下

〔俗耳鼓吹〕天明元年辛丑、小石川布施氏○註の宅、江洲崎望陀欄の主祝阿彌を招請、獻立、

琉球 大丸盆 同斷 どんぶり 唐がらしみ、そ

赤繪南京 大鉢 鯉平作り ちよるぎ 黒くわゐ

〔兔園小説〕十二大酒大食の會

文化十四年丁丑三月廿三日、兩國柳橋萬屋八郎兵衛方にて、大酒大食の會興行、連中の内稀人の

分書拔

酒組○中

一五升入井鉢にて壹盃半